

小児急性虫垂炎で加療を受けられた患者さんの

検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 当院の小児急性虫垂炎における保存的加療と手術加療に関する後方視的研究

[当院の研究責任者] 小児外科 生野 猛

[研究の背景]

急性虫垂炎は小児期にも発生しうる病気です。その治療としては、主に抗生剤と点滴で経過をみる保存的治療と、原因となっている虫垂を切除する手術による治療があります。小児急性虫垂炎に治療に関して、保存的治療後の再発率は 10-27%で、その有効性の報告はございますが、この再入院や再入院での再度の侵襲的検査の必要性、再入院期間、再入院での手術に関する患者さんへの実際の負担や、それに伴う医療費に関しての報告されたものは非常に少ないです。治療の違いによる、患者さん目線での利点・欠点を明らかにするため、この研究を計画しました。

[研究の目的]

当院で小児急性虫垂炎で入院された患者さんの治療の違い、再発、入院期間、入院診療報酬および手術所見をカルテ情報から振り返り、治療の違いによる利点・欠点を医療費を含め明らかにします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

小児急性虫垂炎の患者さんで、西暦 2015 年 5 月 1 日から西暦 2019 年 11 月 30 日の間に入院となった方

●研究期間：西暦 2020 年 3 月 23 日から西暦 2020 年 9 月 30 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

カルテ情報：診断名、年齢、身体所見、既往歴、血液検査、画像検査、入院期間、抗生剤、術式、手術所見、術後経過、再入院の有無

診療報酬：入院費、画像検査費、手術費、麻酔費、病理組織検査費、抗生剤費

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

小児外科 医師 生野 猛

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881